

## 第6学年 外国語活動案〔4〕

### 1 単元名 Capital letters and small letters. (大文字と小文字)

(『Hi, friends 2』 Lesson 1\_\_Do you have "a"? (アルファベットクイズを作ろう) より)

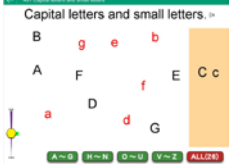
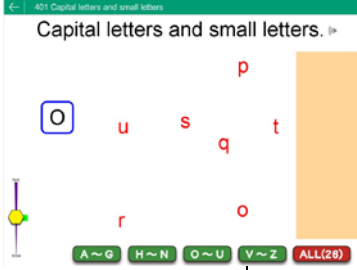
### 2 目標

- ・アルファベットの文字の読み方, 大文字と小文字の字形を知り, アルファベットの読み方, 大文字と小文字とを一致させる活動を通して, 英語の文字に慣れ親しむ。
- ・大文字と小文字が似ている形のものとは似ていない形のものがあることに気付く。

### 3 使用ソフト [401\_H1L2 Capital letters and small letters.] 大文字と小文字

(同じアルファベットの大文字と小文字を探すゲーム \*楽しみながら, 大文字と小文字が覚えられます。)

### 4 展開

| 児童の活動   | 教師の活動  | 留意点  |
|---|--|--|
| <p><b>【Warming up】</b></p> <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hello, Mr. (Ms.) ~.</li> <li>・ I'm fine, thank you.</li> <li>・ How are you?</li> </ul> <p><b>【Activity】</b></p> <p>○タイトルを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声に合わせて声を出す。</li> </ul>  <p>○大文字と小文字のペアを一緒に探す。</p> <p>○並んだ大文字と小文字を見ながらアルファベットを読む。</p> <p>○大文字と小文字のペアをグループで探す。</p> <p>上記と同様に「H~N」「O~U」「V~Z」でペア探しをする。</p>  <p>○大文字と小文字のペア探し「ALL(26)」に挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットに合わせて読む。</li> <li>・ グループで協力してペアを探す。</li> <li>・ 個人でペアを見つけリレーする。</li> </ul> <p><b>【Looking back】</b></p> <p>○本時の活動を振り返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Thank you very much.</li> <li>・ Good-bye, Mr. (Ms.) ~.</li> <li>・ See you.</li> </ul> | <p>○全体に挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hello, how are you?</li> <li>・ I'm fine/good/OK/hungry/sleepy, thank you.</li> </ul> <p>○[Capital letters and small letters.]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大文字を指しながら「Capital letters.」</li> <li>・ 小文字を指しながら「Small letters.」</li> </ul> <p>○「A~G」を使って児童と一緒に活動の仕方を全体で確認する。</p> <p>○ペア全てが右の枠に並んだら, クリックしながら, アルファベットの読み方と大文字, 小文字の形が一致するように読む。</p> <p>○「A~G」を使って, グループチャレンジをさせる。</p> <p>上記と同様に「H~N」「O~U」「V~Z」でペア探しをする。その際, 児童のレベルを考慮しながらグループの構成メンバーを変えたり, 全体チャレンジとグループチャレンジの割合を調整したりする。</p> <p>○「ALL(26)」を示し, 全体で挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一斉で行う。</li> <li>・ グループで行う。</li> <li>・ 個人リレーで行う。</li> </ul> | <p>・挨拶で楽しい雰囲気をつくり, 始まりを意識させる。</p> <p>・ソフト [401_H1L2 Capital letters and small letters.]を開く。</p> <p>・音声マークをクリックし, 何度か繰り返す。</p> <p>・スピード調節のslowから。</p> <p>・活動の途中, スピードに慣れてきたら「0」程度で続ける。</p> <p>・クリックで文字の位置をランダムに変えて変化をつけながら繰り返す。</p> <p>・グループチャレンジの際, 見ている児童は, 音声発音で参加させる。</p> <p>・特にアルファベット順こだわって行う必要はないが, こだわる児童がいたら認めていく。</p> <p>・形の似たものが多いV~Zから始めても良い。</p> <p>・一斉活動で行ってもマウスリレーで行っても良い。</p> <p>・ワイヤレスマウスがあると便利。</p> <p>・特定の大文字をクリックすると, 他の大文字が消えて小文字のみが表示されるので見つけやすい。</p> <p>・次時への意欲につながるように, 具体的に褒めて励ます。</p> |

## 第6学年 外国語活動案〔5〕

### 1 単元名 Who am I? (私は誰でしょう?)

(『Hi, friends 2』 Lesson 3\_I can swim. (できることを紹介しよう) より)




### 2 目標

- ・「できること」には、「can」「できないこと」には、「can't」を使うことで表現できることを知る。
- ・文を聞き、どの登場人物なのかを当てることができる。
- ・I can～.とI can't～.を使って自由に表現することができる。

### 3 使用ソフト [505\_H2L3 Who am I?] 私は誰でしょう?

(できる/できないことを聞いて誰かを当てるクイズ \* [NEXT]ボタンで組み合わせが変わり、何問でも。)

### 4 展開

| 児童の活動  | 教師の活動  | 留意点   |
|--|--|---|
| <p><b>[Warming up]</b></p> <p>○簡単な挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hello everyone.<br/>Hello teacher.</li> <li>・ How are you?<br/>I'm fine,thank you.and you?</li> </ul> <p><b>[Activity]</b></p> <p>○一緒に読む。(I can～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声に合わせて声を出す。</li> </ul>  <p>○[NEXT]を押すと、can'tの例文が出る。</p>  <p>○だれのことかわかったら札をとろう。<br/>札をとった子が、[ANSWER]ボタンを押すことができる。</p> <p>○自己紹介をしよう。<br/>can と、can't を使った文で自分を表現する。</p> <p><b>[Looking back]</b></p> <p>○本時の活動を振り返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ That's all today.</li> <li>・ See you.</li> </ul> | <p>○簡単な挨拶の他にも、個別に質問をして英語に慣れさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日、何日?<br/>What's the date today?</li> <li>・ 今日、何曜日?<br/>What day is it today?</li> <li>・ 今日の天気は?<br/>How is the weather today?</li> </ul> <p>○ I can～.<br/>聞き取れない子のために、前に立ちゼスチャーをつける。</p> <p>○音声マークを何回もクリックし、繰り返す。</p> <p>○慣れたところでANSWERを押す。</p> <p>○ I can't～<br/>can'tの文章の絵には、×でなく△印が付いていることを確認させる。</p> <p>○音声マークを何回もクリックし、繰り返す。</p> <p>○慣れたところでANSWARを押す。</p> <p>○プレートの準備</p>  <p>○自分を<br/>I can～. × 3 と I can't～ × 1 で、表現することを伝える。</p> <p>○児童の英語を使おうとする態度などで、良かったところを褒めて励ます。</p> | <p>・毎時間の始めに、基本文を使うことによって文を覚え、会話に慣れさせる。</p> <p>・一人でも多くの子に発言させる。</p> <p>・ソフト [505_H2L3 Who am I?] を開く。</p> <p>・1回目は聞く。<br/>2回目はスピード調節をslowにして一緒に読む。<br/>3回目以降は、中間、そして、fast…とだんだん速くする。</p> <p>・必ずしも2枚目でcan'tの例文が出るとは限らない。</p> <p>・I can～同様、1回目は聞き…3回目以降はスピードを上げる。</p> <p>・登場人物は、左の7名。</p> <p>・自信のある子を対戦方式にすることも可能。</p> <p>・友達の発表を真剣に聞かせる。</p> <p>・次時への意欲につながるように、具体的に褒めて励ます。</p> |

## 第6学年 外国語活動案〔6〕

1 単元名 What country is this? (これはどこの国ですか?)  
 (『Hi, friends 2』 Lesson 5\_\_Let's go to Italy. (友だちを旅行にさそおう) より)

2 目標

- ・国旗と世界地図の場所をつながながら、英語で国名を当てるゲームを行うことを通して、世界の国々の国旗とその国の位置を知り、英語の国名に慣れ親しむ。
- ・世界の国々の国旗には似ているところがあることに気付く。

3 使用ソフト [601\_H2L5 What country is this? 1] これはどこの国ですか? 1 (国旗クイズ 1)  
 (国旗を見て国名を答えるクイズ \*地図上の色のついた部分をクリックすると国名を発音します。)

4 展開

| 児童の活動   | 教師の活動  | 留意点   |
|---|--|---|
| <p><b>[Warming up]</b><br/>                     ○挨拶をする。<br/>                     ・Hello, Mr. (Ms.) ~.<br/>                     ・I'm fine, thank you.<br/>                     ・How are you?</p> <p><b>[Activity]</b><br/>                     ○タイトルを読む。<br/>                     ・音声に合わせて声を出す。<br/>                     ・「America.」<br/>                     ・「Japan.」<br/>                     ・「America.」<br/>                     ・「America.」</p> <p>○国旗、国当てクイズを行う。<br/>                     ・「What country is this? Greece? India?」(例)<br/>                     ・「India.」○<br/>                     ・「Greece.」×</p> <p>○国旗、国当てクイズ、バージョンアップ。<br/>                     ・半分に分かれて。<br/>                     ・班で協力して。<br/>                     ・個々の力で。<br/>                     (挑戦したい児童)</p> <p>※・縦縞と横縞の国旗がある。<br/>                     ・横縞の国旗は○○と○○だ。<br/>                     ・面白い絵が描かれている。等</p> <p><b>[Looking back]</b><br/>                     ○本時の活動を振り返る。<br/>                     ○挨拶をする。<br/>                     ・Thank you very much.<br/>                     ・Good-bye, Mr. (Ms.) ~.<br/>                     ・See you.</p> | <p>○全体に挨拶をする。<br/>                     ・Hello, how are you?<br/>                     ・I'm fine/good/OK/hungry/sleepy, thank you.</p> <p>○What country is this?<br/>                     America? Japan? (例)<br/>                     ・地図上の「America」を指し<br/>                     ・地図上の「Japan」を指し<br/>                     ・国旗を指し<br/>                     「America」.<br/>                     ・再び問いを出し<br/>                     What country is this?<br/>                     ○モデルの児童を指名して、「国旗、国当てクイズ」活動の仕方を全体で確認する。</p> <p>○「国旗、国当てクイズ」をバージョンアップして行う。<br/>                     ①学級を半分に分けて。<br/>                     ※出題する側と回答する側<br/>                     ②班対抗リレーで。<br/>                     ③ペアの児童で。</p> | <p>・挨拶で楽しい雰囲気をつくり、始まりを意識させる。</p> <p>・ソフト [601_H2L5 What country is this? 1] を開く。<br/>                     ・音声マークをクリックし、何度か繰り返す。<br/>                     ・初めはスピード調節のslowから。<br/>                     ・国の色分けを活かして「Red=America」「Blue=Japan」と色でつなげて良い。<br/>                     ・右にある国旗をクリックすると、次々と国が切り替わる。<br/>                     ・同じ国旗でも相手の国が切り替わって何度でも繰り返すことができる。<br/>                     ・正解の時には○が、不正解の時には×が表示されるので、最初に×の時にも再度選択させ、○で終わらせると良い。<br/>                     ・大人数から少人数へと移行し、スキルアップを図りながら、抵抗を少なくして、発声の機会と場をレベルアップさせる。<br/>                     ・場を見て一斉活動で行ってもマウスリレーで行っても良い。<br/>                     ・ワイヤレスマウスがあると便利。<br/>                     ・クイズを出す側と答える側で、より主体的に取り組める。</p> <p>・次時への意欲につながるように、具体的に褒めて励ます。</p> |